

BOATMEN

NPO法人 石川県小型船安全協会会報「ボートメン」 27号 (2015年12月発行号)

Vol. **27**

トピックス …… 石川県と災害時協定締結、訓練参加、ざぶん賞2015表彰式 など

活動報告 …… マリンレジャー安全推進旬間出動式、安全訓練、夏のイベント など

行政から …… 金沢・七尾海上保安部着任のご挨拶

顧問メッセージ …… 水について考えたら、海に遊びに行こう 白石恵一氏

ざぶん賞受賞作品◎ ボートマンズエッセイ・桑取川の四季



石川県と災害時協定締結。訓練参加。

4月 協定締結

自然災害による孤立集落に、海からの物資輸送や救援にも率先協力すべく、石川県と「災害時等における海上緊急輸送業務に関する協定書」を締結しました。

●協定の主な内容

- ・災害時に石川県が海上緊急輸送が必要と判断された場合に、石川県から協力要請を受け、当会は可能な限り協力すること。
- ・主な業務は被災者や滞留者、生活必需品、応急対策に必要な人員や機材などの輸送を行うこと。
- ・必要経費は石川県が負担。業務中に災害を受けた場合、県の損害補償に関する条例が準用され、補償される。

9月6日 県防災総合訓練に参加 内灘町

石川県主催の本年度の防災訓練が、内灘町にて開催されました。

今年締結した災害時協定を基に、海からの物資搬送の訓練に、金沢支部の会員ら4名が参加しました。

訓練はマリンパーク内灘横の河北潟放水路の対岸で行われ、当会の参加艇1隻が、金沢港で物資の箱を積み込み、海路で現場に向かい接岸。国土交通省の参加艇（わかな）を介し物資を下ろす。それを速やかにトラックに積載し、陸路で移動するまでの一連の行動を確認いたしました。

初めての試みでもあり、現場に来訪、視察された隊長（谷本知事）に南野支部長が説明、報告いたしました。



8月2日 加賀市防災訓練に参加

加賀マリクラブは防災士会と連携し、加賀市の防災訓練に参加。地元の塩屋地区での災害時の物資の運搬を想定して訓練を行ないました。



ざぶん賞2015(第14回)表彰式開催。 応募作品が10,000を超えました。

11月28日 金沢で表彰セレモニー開催

当会が共催しているざぶん賞の表彰式が、金沢市の金沢東急ホテルにて開催されました。全国の小中学生から過去最高の約10,000作品の応募が、全国表彰のほか、中部地区ブロック表彰式として、石川県を含む各地で選ばれた皆様もお招きしました。

委員長の月尾嘉男氏（東京大学名誉教授）のあいさつに続き、顧問の馳 浩氏（文部科学大臣）、来賓を代表して金沢市長の山野之義氏から歓迎のあいさつをいただきました。その後各入選者に順に賞が授与されました。



文部科学大臣 馳 浩氏（協会顧問）からざぶん特別大賞が授与

馳氏（実行委員会顧問）の大臣就任と、応募が10,000作品を超えたことを機に、ざぶん特別大賞が設けられました。

東京都の中学1年生 佐々木優子さんの作品が選ばれ、馳大臣から本人に授与されました。

馳大臣は、第1回目の実行委員会の会長を就任され、その後筑紫哲也氏、月尾嘉男氏へと事業が受け継がれ、大きく発展していったこの事業の意義を踏まえ、参加した受賞者に世界には水不足で苦しむ子供たちが多くいることを知り、日本の水資源について感謝することの大切さなどをお話いただきました。



石川県内に入選者には、県知事賞、県教育委員会賞、金沢市長賞、うみまる賞（金沢、七尾両海上保安部長表彰）、ソロプチミスト金沢くろゆり賞がそれぞれ渡されました。

当会も各地で学校や体験航海時に応募を促し、今回は小松マリンクラブの紹介で応募した小学生が受賞しました。



活動報告

総会開催。27年度の計画が承認。

2月28日 金沢市で

総会は、会員、および来賓の皆様、約80名が出席され、開催されました。岡川会長は、自然災害が増加している中、当会としても有事に力になる団体であることの必要性から、県と災害協定を締結することなど、今後の協会の価値を一層高め、海の仲間として会員入会を促進することなど述べました。

議案審議では、引き続き安全指導、パトロールの活動強化、ライフジャケットの着用徹底を県内各地で行うこと、係留保管場所整備、海洋体験推進事業、文化創造事業などの計画が承認されました。また全国事業として発展継続している、ざぶん賞の応募にも全県各地で協力することを求めました。



海上指導員講習会を開催。

3月8日 金沢市、12月13日 七尾市

金沢、七尾で海上安全指導員の講習会を開催しました。金沢海上保安部管轄区域では、これまで各支部単位で開催していた講習会を、合同で行ないました。

現在海上安全指導員は46名、パトロール艇は36隻が委嘱され、海上で活動しています。



マリンレジャー安全推進週間出動式。

4月26日 金沢港で(金沢支部)

金沢支部で、大型連休前のマリンレジャー安全推進週間の出動式を、金沢海上保安部の協力のもと行いました。

会員18名が参加し、金沢港護岸周辺と、港内のパトロールを行い、レジャー活動者に安全の指導を行いました。



小型船整備点検講習会開催。

4月12日 金沢みなと会館で(金沢支部)

一般社団法人日本舶用機関整備協会の講師を招き、船舶の機関の整備点検についての講習会を行いました。

近年機関の事故が海難事故全体に占める割合が増加しており、その多くは発航前点検や定期的整備で防ぐことが出来るものです。そこで、基本的な機関の取扱方法、日常の点検、定期的な整備の重要性を理解して頂くため開催しました。また事故を未然に防止し安全確保はもとより、機関性能の維持、寿命の延長にもよい影響を与えます。

講習会では機関の各部分の説明とメンテナンスの方法などきめ細かく指導いただきました。

今回は当協会のメンバー以外のユーザーにもお声をかけ、45名が参加。多くの皆様が高い関心を持ち、熱心に学ばれました。



各地で海上安全訓練、講習会を実施。

6月7日 小松安宅沖、9月13日 加賀橋立沖
(加南支部)

加南支部は、小松安宅と加賀橋立の2ヶ所の水難救済所において、水難救済会と合同の海上安全訓練を実施しました。会員約60名が参加。地域の警察や消防らとの連携し、行方不明者搜索、海中転落者救助、発炎筒点火等の訓練を実施しました。

5月23日 羽咋滝港（羽咋支部）

滝港にて羽咋支部、羽咋マリンクラブは、羽咋救難所との合同のパトロール、および海難訓練に参加しました。金沢海上保安部巡視艇わしかぜも参加し、海上保安部員の指導のもと実施しました。



7月12日 輪島沖、10月4日 珠洲沖（能登支部）

能登地区では輪島、七尾／穴水、珠洲でもそれぞれ訓練を実施しました。輪島は参加20名、珠洲は11名が参加しました。

海上保安部との合同パトロール。 訪船指導を行いました。

10月10日 七尾北湾で（能登支部）

中居マリン協会と七尾海上保安部合同の海上安全パトロールを行いました。

当会の安全パトロール艇に海上保安部員が乗船し、湾内で釣をされているなどの船に順に訪れ直接指導を行いました。ライフジャケットの未着用者への指導など効果的な活動となりました。能登支部では今後輪島や珠洲方面でも実施する予定です。



海面利用協議会に協力。いか釣り船の集魚灯、沿岸部の漁獲などについて。

11月19日 石川県庁にて

県水産課の石川県海面利用者協議会に、当会から遊漁者代表委員として濱田理事が参加いたしました。

会議では、いか釣り船の集魚灯の光量について、一部の遊漁者（当協会の会員ではない）に自主規制が徹底されていないことが挙げられ、対象となる特定の遊漁者への対応が求められました。

また、漁業者からは沿岸部での漁獲についても今後厳しく規制する方向であることなど説明がありました。

いか釣りの集魚灯の光量については、当会会員は、近郊の漁業団体様との話し合いに基づき、自主規制を設け高いモラルを有し行動されております。

夏のイベントを各地で開催。 トライアスロン珠洲大会にも協力。

港フェスタ金沢でライフジャケット啓発

7月19日 金沢港（金沢支部）

金沢港フェスタでは、来場者へのライフジャケットの啓発のイベントが開催され、当会も協力しました。

また、金沢支部が企画した体験クルージングは荒天で中止となりました。

ボート天国・マリンスポーツチャレンジデー

7月20日 七尾港（能登支部）

恒例となった七尾港の体験航海「ボート天国」が開催されました。約300名の多くのご家族や子供たちがボートを体験しました。七尾マリン協会、雌島クラブが協力しました。



小松・美川親子ボートフィッシング大会を開催

7月26日 小松・美川沖、8月2日 橋立沖（加南支部）

今年も小松、美川で、親子を対象としたボートフィッシング大会を開催しました。約80名（内親子が約40名）が参加し、キス釣りやクルージングを体験しました。

また加賀マリンクラブも初めて親子ボートフィッシング大会を開催。約20名が参加しました。



8月22、23日 トライアスロン大会 珠洲 鉢ヶ崎（能登支部）

約1,600人が参加するトライアスロン珠洲大会に、今年も長浜マリン協会の皆様、スイム競技の選手の先導と監視など海上安全の確保に協力しました。メンバー18人（隻）がボートを提供し、各配置にて監視しました。

県民の森の植樹、草刈りを継続。 クリーンビーチにも参加。

5月7日、6月21日 山中県民の森（加南支部）

大協マリクラブは、毎年の恒例事業となっている、山中県民の森での草刈りを実施。15名が参加しました。

災害時の洪水を防ぐことや、魚に必要な川への養分を蓄えることが目的です。特に急斜面の森林再生に絞り、作業が難しく、また木も育ちにくい場で粘り強く活動しています。

今年は5月に苗木を植え、6月に下草を刈る作業を行いました。成果が出るまで長い時を要しますが、今後も活動を継続する予定です。



5月31日 金沢（金沢支部）

金沢支部は今年もクリーンビーチに協力しました。48名が金石、内灘地区の海岸、河川で、清掃活動を行いました。



手取川の暫定係留などの意見交換。

6月29日 金沢河川国道事務所訪問

小松梯川の暫定係留施設が完成し、次に手取川の利用について、関係行政の皆様と意見交換を開始しました。

当会所属の手取会、加南支部が、今後公益性のある係留環境の整備に向けて協議を進めていく予定です。

山形県の小型船安全協会に、法人化に関する情報を提供しました。

山形県で活動されている小型船安全協会がNPO法人認可を目指していることで、酒田海上保安部、金沢海上保安部からの依頼で、当会設立時にに関する情報を提供いたしました。



スナップ

県防災訓練 南野副会長が
隊長（知事）に報告説明

海難訓練
小松美川合同



総会 顧問 佐々木 紀氏ご挨拶



ポート天国（七尾）



みなとフェスタ金沢
ライフジャケット啓発



親子フィッシング大会（加賀）

ざぶん賞2015
全国表彰セレモニー
（金沢）



編集後記 周りを海に囲まれた我が国は、大きな津波に見舞われ、海とどう付き合っていくかを近年いろいろなところで考えるようになってきました。利用するという部分では資源が眠っている海、発電が可能な海、など研究が進んでいます。一方ある大学の研究によると、年月を経て、プラスチックがとても細かな破片となり、海に溜まり、それをいよいよ海の小さな生物が食べてしまう状況になってきたそうです。食物連鎖で魚も変化するのではという恐れがあるようです。石油が発見されてから人類は劇的に豊かになりました。その付けもどうやらいろいろな場面でまわってきたようです。